

東北地方 1か月予報

(1月11日から2月10日までの天候見通し)

平成15年1月10日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

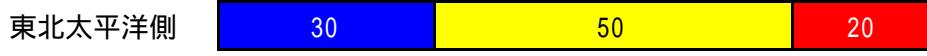
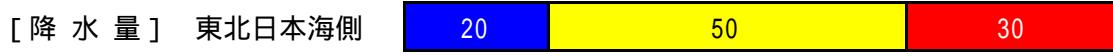
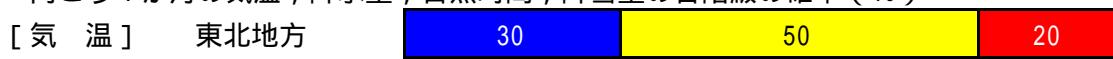
冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。

平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、各週とも平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 1月11日(土) ~ 2月10日(月)

1週目 : 1月11日(土) ~ 1月17日(金)

2週目 : 1月18日(土) ~ 1月24日(金)

3~4週目 : 1月25日(土) ~ 2月 7日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は1月17日

3か月予報：1月20日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間, 降雪量と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.4	48.1	154.3	24	0.8	0.3	0.2
新庄	-1.5	176.1	46.9	-----	-1.3	-1.6	-1.6
若松	-0.9	77.4	89.6	137	-0.7	-1.0	-1.1
深浦	-0.7	88.5	35.7	82	-0.2	-0.7	-1.0
青森	-1.7	147.7	62.3	286	-1.3	-1.7	-1.9
むつ	-1.9	91.8	82.8	-----	-1.4	-1.9	-2.2
八戸	-1.5	53.4	138.4	48	-1.0	-1.5	-1.7
秋田	-0.4	106.3	51.8	101	0.0	-0.4	-0.6
盛岡	-2.3	51.3	132.4	62	-2.0	-2.4	-2.5
宮古	-0.2	63.8	167.5	37	0.4	-0.1	-0.4
酒田	1.1	141.4	45.4	89	1.5	1.1	0.9
山形	-0.8	75.8	95.2	116	-0.5	-0.9	-0.9
仙台	1.2	36.6	159.4	24	1.6	1.2	1.0
石巻	0.3	37.4	174.9	14	0.7	0.2	0.1
福島	1.2	46.1	146.6	46	1.5	1.1	1.0
白河	-0.1	30.2	168.2	-----	0.2	-0.2	-0.3
小名浜	3.3	50.6	195.5	0	3.6	3.2	3.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.8	74~111	95~107	83~107
東北日本海側	-0.4~+0.7	90~104	91~111	85~119
東北太平洋側	-0.5~+0.8	62~111	96~105	72~108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8~+0.8	-0.6~+0.9	-0.5~+0.7
東北日本海側	-0.8~+0.8	-0.6~+0.9	-0.5~+0.7
東北太平洋側	-0.7~+0.8	-0.6~+0.9	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年1月10日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(1月11日~2月10日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(1月11日~1月17日) :

気圧の谷が周期的に通過し、通過後は冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側では曇りで雪や雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では概ね晴れますか、期間の中頃は天気の崩れる所がある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(1月18日~1月24日) :

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強まるでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(1月25日~2月7日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

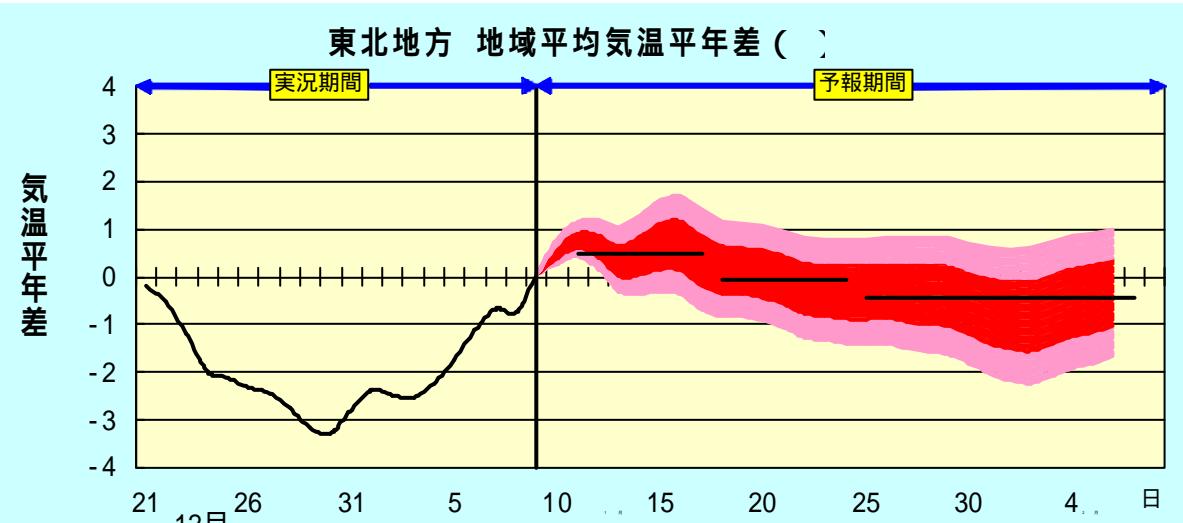
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.0日	1.2日	1.2日	2.6日
東北太平洋側	18.3日	4.6日	4.3日	9.4日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」を予測している。予報は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

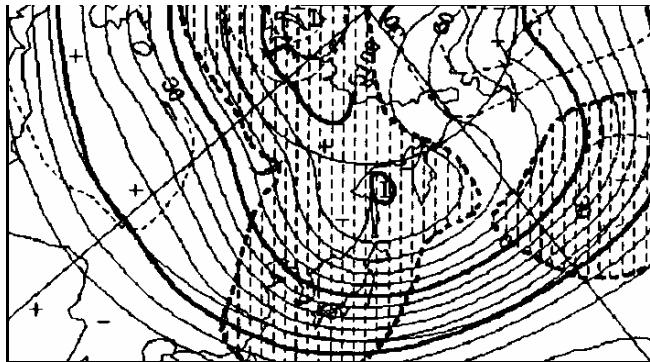


* 実況期間(図の左側)の太い実線：東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

* 水平な3本の実線：予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

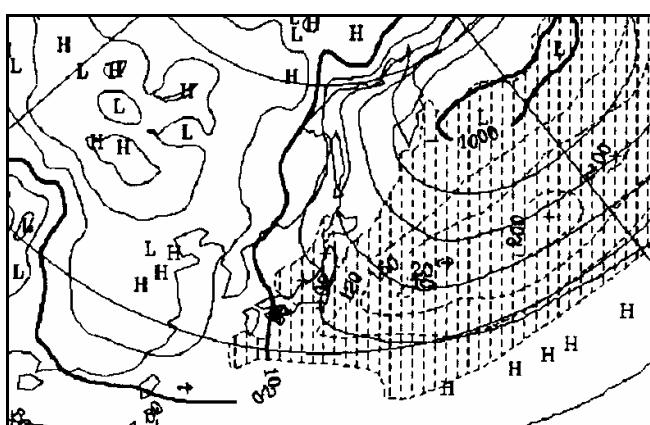
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa高度・偏差

月平均で見ると、沿海州から日本付近は広く負偏差に覆われるが、負偏差は弱い。このため、強い寒気の影響はあっても一時的と考えられる。

週別（図略）では、1週目、北日本的一部が正偏差となる他は日本付近は負偏差となる見込み。2週目以降はオホーツク海の寒冷低気圧が弱まり、日本付近への持続的な寒気の南下の可能性は小さい。



地上気圧と降水量

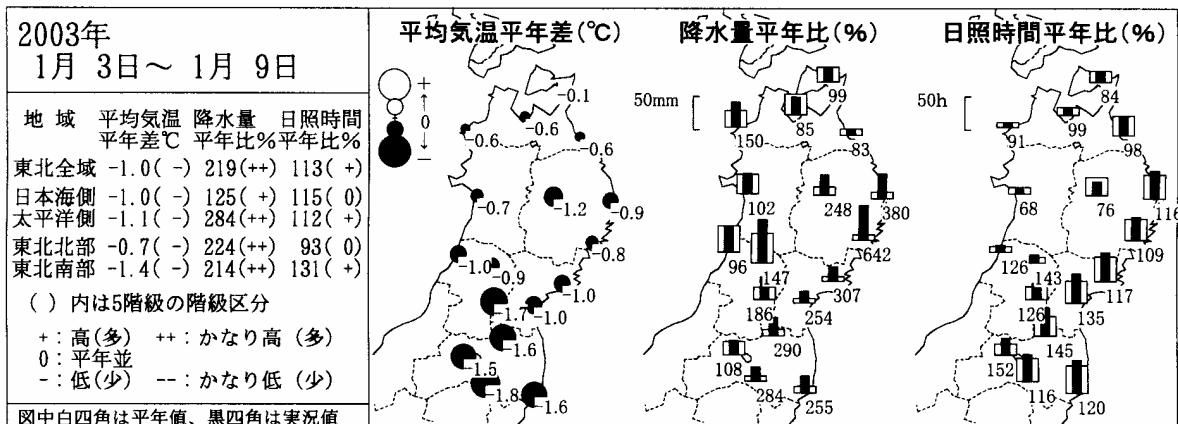
月平均で見ると、ほぼ平年と同様の冬型の気圧配置で、北日本では日本海側を中心に降水域が予想される。

週別（図略）では、1週目は日本付近の等圧線の間隔が開いて冬型の気圧配置は持続しない見込み。2週目以降は月平均とほぼ同様で、冬型の気圧配置となる日が多い予想。

4. 最近1週間（1月3日～1月9日）の天候の経過

3～4日に、低気圧が発達しながら東北地方を通過し天気が崩れた。通過後は6日かけて強い冬型の気圧配置となって東北日本海側を中心に雪が降り、大雪やふぶきのため交通機関などに影響が発生した。7日以降は冬型の気圧配置が緩んで、東北日本海側北部で曇りや雨となったがその他は概ね晴れた。

平均気温は、東北地方で平年差-1.0℃と低かった。降水量は、東北日本海側で平年比125%と多く、東北太平洋側で平年比284%とかなり多かった。日照時間は、東北北部で平年比93%と平年並、東北南部で平年比131%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)